

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2013年6月調査）

2013年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容	1
II. 調査の結果	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2013年4～6月の実績と2013年7～9月の見通しを6月初旬時点でうかがったものであり、1,115社からご協力をいただき、回答率は44.6%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

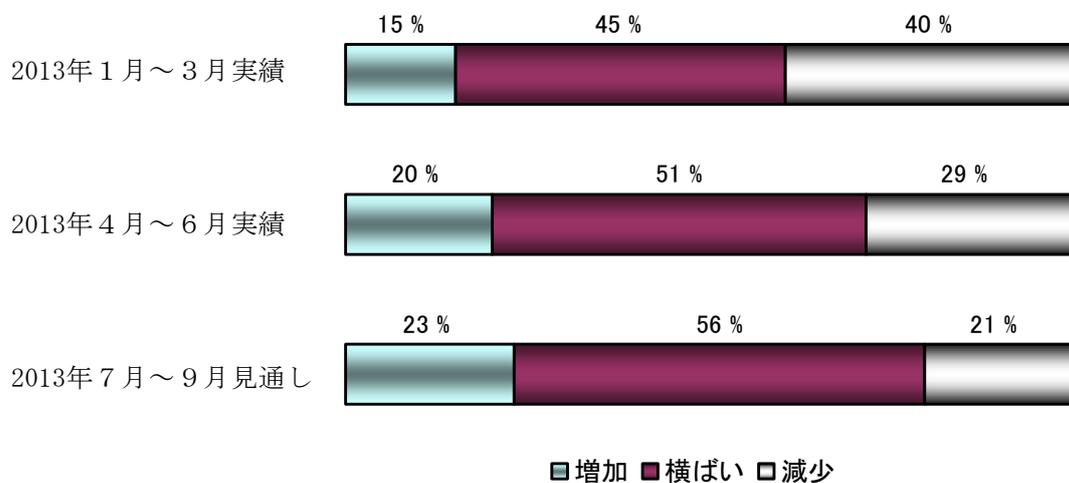
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	108	46.6
	織 維 ・ 衣 服	111	46	41.4
	木 材 ・ 家 具	96	42	43.8
	パ ル プ ・ 紙	107	57	53.3
	化学・プラスチック	239	114	47.7
	窯 業 ・ 土 石	102	40	39.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	113	57.9
	金 属 製 品	128	55	43.0
	一 般 機 械	222	99	44.6
	電 気 機 械	333	128	38.4
	輸 送 用 機 械	251	106	42.2
	精 密 機 械	67	26	38.8
	そ の 他	167	60	35.9
	計	2,250	994	44.2
卸 売 業	生 産 財	124	69	55.6
	消 費 財	126	52	41.3
	計	250	121	48.4
合 計		2,500	1,115	44.6

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

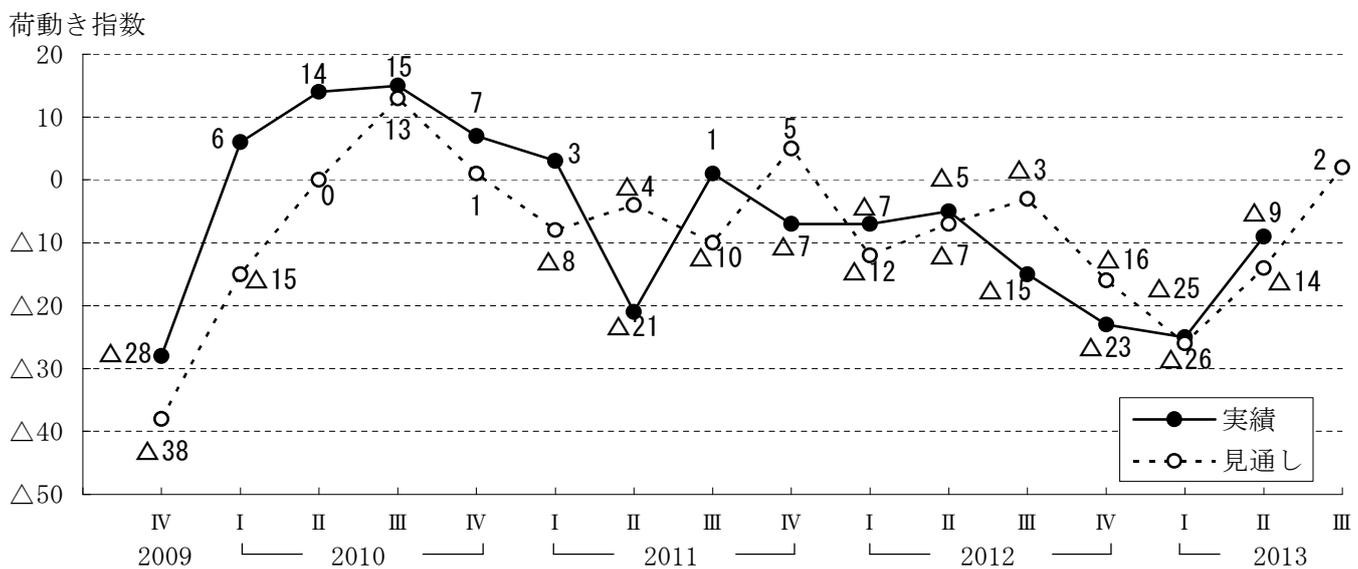
- 4～6 月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3 月）実績より 5 ポイント上昇し 20%となった。一方、「減少」との回答は前期より 11 ポイント低下し 29%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は 16 ポイント上昇して△9 となった。
- 7～9 月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6 月）実績（見込み）より 3 ポイント上昇し 23%となる一方、「減少」との回答は 8 ポイント低下し 21%になる。この結果、『荷動き指数』は 11 ポイント上昇してプラス 2 と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



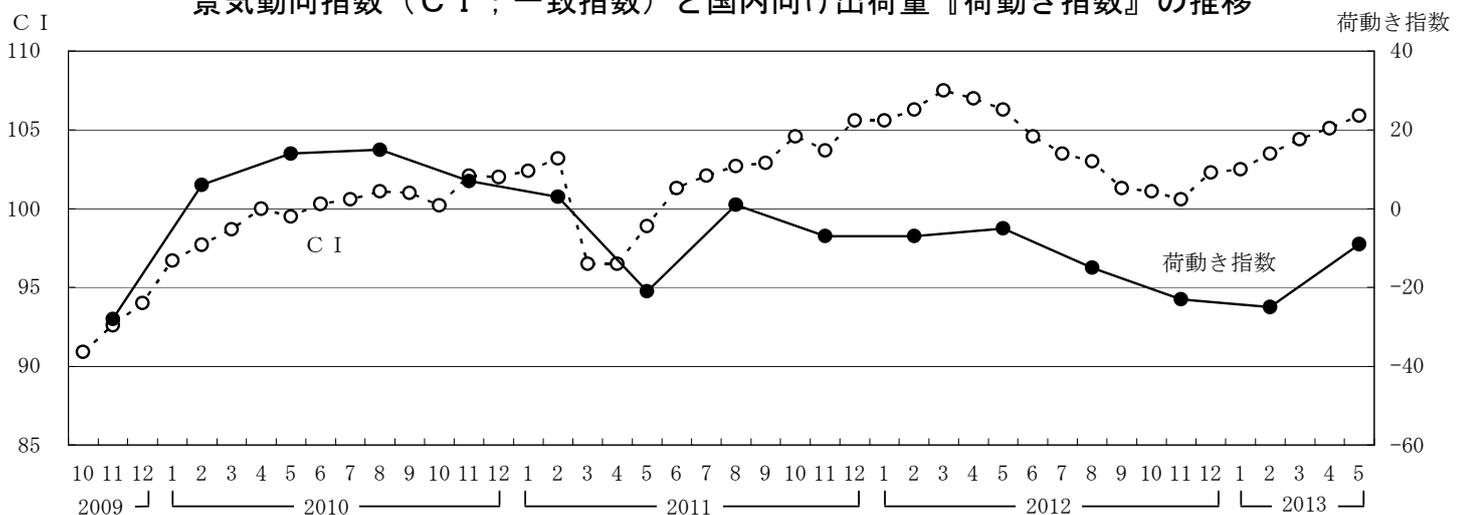
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年10～12月実績以降水面下の推移が続き、2012年7～9月実績および10～12月実績では大幅な下落となった。しかし、2013年1～3月実績で下げ止まり、4～6月実績（見込み）では同16ポイントの大幅な改善がみられた。また、7～9月見通しではさらに11ポイント上昇してプラス2まで浮上する見通しである。『荷動き指数』がプラスとなるのは2011年7～9月実績以来2年ぶりのことであり、荷動きの回復が期待される。なお、本調査結果および景気動向指数から、日本経済は2012年10～12月もしくは2013年1～3月に底入れした可能性が高いものと判断できる。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2013年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2013年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第14循環における景気の山は2008年2月、景気の谷は2009年3月となっている。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、木材・家具以外の業種において前期（1～3月）実績よりも改善した。ただし、プラスの業種は木材・家具、パルプ・紙、窯業・土石の3業種にとどまり、残り12業種がマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、パルプ・紙以外の業種において前期（4～6月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が上昇する。プラスの業種は木材・家具、窯業・土石など8業種に増加する一方で、繊維・衣服、その他の製造業など7業種がマイナスを示すなど、業種により跛行性がみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	106	17	59	24	△7	106	18	67	15	3
繊維・衣服	46	13	52	35	△22	46	17	50	33	△16
木材・家具	42	38	36	26	12	42	48	43	9	39
パルプ・紙	55	33	47	20	13	54	26	59	15	11
化学・プラスチック	112	15	58	27	△12	111	20	62	18	2
窯業・土石	38	29	47	24	5	37	22	70	8	14
鉄鋼・非鉄	113	21	42	37	△16	110	19	59	22	△3
金属製品	54	20	52	28	△8	54	24	48	28	△4
一般機械	98	26	46	28	△2	97	33	45	22	11
電気機械	127	15	51	34	△19	127	22	52	26	△4
輸送用機械	101	20	48	32	△12	101	28	42	30	△2
精密機械	25	12	52	36	△24	25	20	56	24	△4
その他	59	17	51	32	△15	60	16	57	27	△11
計	976	20	50	30	△10	970	24	55	21	3
卸売業										
生産財	67	15	66	19	△4	67	21	70	9	12
消費財	49	10	63	27	△17	49	20	66	14	6
計	116	13	65	22	△9	116	21	68	11	10
合計	1,092	20	51	29	△9	1,086	23	56	21	2

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、プラスの地域は皆無で、かつ東北、関東、東海の3地域で2ケタのマイナスを示した。前期（1～3月）実績との比較では、全9地域で改善がみられた。

■ 7～9月の見通しでは、四国で『荷動き指数』が低下する一方、残り8地域において改善の動きがみられ、中国など6地域ではプラスに浮上する見込みである。なお、関東、東海、近畿など大都市圏においては、『荷動き指数』がマイナスないしは小幅なプラスにとどまる一方で、北海道、北陸・信越、中国、九州・沖縄の4地域では2ケタのプラスを示すなど、地域により明暗が分かれている。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

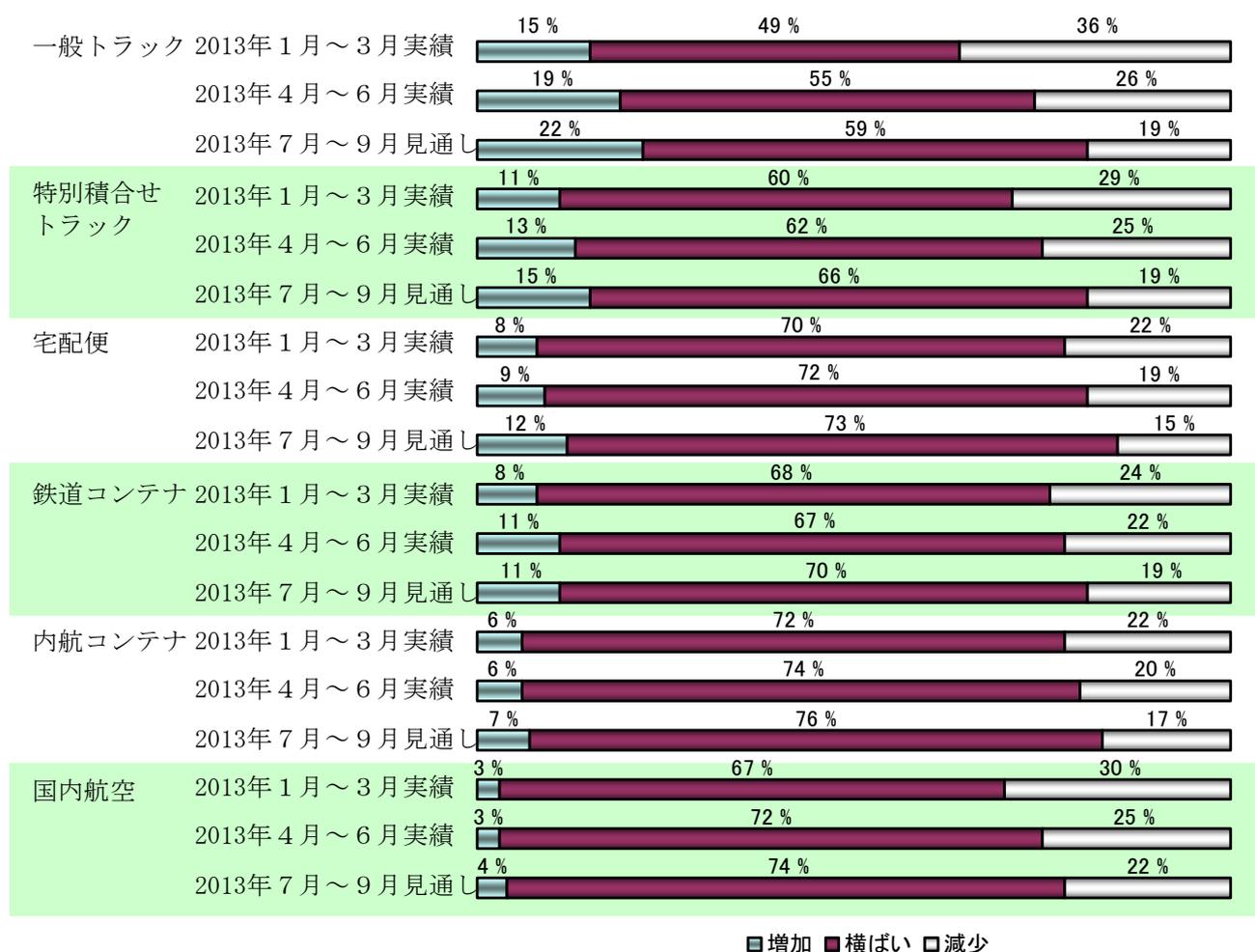
地 域	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	60	16	62	22	△ 6	59	19	73	8	11
東 北	98	19	52	29	△ 10	98	22	61	17	5
関 東	267	21	47	32	△ 11	264	25	51	24	1
北 陸 ・ 信 越	102	24	45	31	△ 7	101	29	52	19	10
東 海	173	16	53	31	△ 15	173	20	53	27	△ 7
近 畿	162	20	51	29	△ 9	162	21	56	23	△ 2
中 国	92	21	52	27	△ 6	92	29	59	12	17
四 国	59	18	58	24	△ 6	59	19	54	27	△ 8
九 州 ・ 沖 縄	79	17	61	22	△ 5	78	22	67	11	11
合 計	1,092	20	51	29	△ 9	1,086	23	56	21	2

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関においてマイナスとなり、かつ一般トラックを除いて2ケタのマイナスを示した。ただし、前期（1～3月）実績との比較では、いずれの輸送機関においても改善がみられた。

■ 7～9月の見通しでは、すべての輸送機関において『利用動向指数』が改善する見込みであり、一般トラックではプラスに浮上する。一方、内航コンテナおよび国内航空では引き続き2ケタのマイナスとなる見通しで、輸送機関により跛行性がみられる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、パルプ・紙、窯業・土石の3業種がプラス、食料品・飲料がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△7で、前期（1～3月）実績からは14ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、その他の製造業が唯一横ばいで推移する以外は、残り14業種で改善が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は10ポイント上昇してプラス3と、2011年1～3月実績以来のプラスに浮上する見通しで、利用は回復に向かうものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	106	21	58	21	0	106	20	66	14	6
繊維・衣服	37	11	57	32	△21	37	16	54	30	△14
木材・家具	41	32	41	27	5	41	39	44	17	22
パルプ・紙	57	30	46	24	6	55	25	60	15	10
化学・プラスチック	112	16	61	23	△7	111	20	68	12	8
窯業・土石	40	28	53	19	9	40	20	70	10	10
鉄鋼・非鉄	106	21	47	32	△11	103	20	61	19	1
金属製品	55	15	58	27	△12	54	18	56	26	△8
一般機械	98	20	51	29	△9	94	26	52	22	4
電気機械	120	13	56	31	△18	120	22	55	23	△1
輸送用機械	104	22	50	28	△6	103	29	46	25	4
精密機械	20	10	50	40	△30	20	15	55	30	△15
その他	57	17	53	30	△13	58	15	57	28	△13
計	953	20	53	27	△7	942	22	58	20	2
卸売業										
生産財	63	13	70	17	△4	62	18	71	11	7
消費財	49	8	72	20	△12	49	16	70	14	2
計	112	10	71	19	△9	111	17	70	13	4
合計	1,065	19	55	26	△7	1,053	22	59	19	3

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料およびパルプ・紙がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△12で、前期（1～3月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、12業種において改善がみられ、木材・家具および生産財卸がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は8ポイント上昇して△4と見込まれ、利用の減退圧力はかなり弱まるものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	67	15	73	12	3	67	16	77	7	9
繊維・衣服	33	12	52	36	△24	34	12	50	38	△26
木材・家具	29	17	62	21	△4	29	24	62	14	10
パルプ・紙	33	30	49	21	9	32	19	66	15	4
化学・プラスチック	100	12	64	24	△12	98	10	75	15	△5
窯業・土石	28	7	64	29	△22	28	7	79	14	△7
鉄鋼・非鉄	69	14	53	33	△19	67	18	60	22	△4
金属製品	39	15	59	26	△11	37	16	65	19	△3
一般機械	77	14	64	22	△8	75	17	64	19	△2
電気機械	98	11	55	34	△23	94	16	57	27	△11
輸送用機械	73	12	67	21	△9	73	17	58	25	△8
精密機械	13	0	77	23	△23	13	8	69	23	△15
その他	45	13	65	22	△9	46	11	63	26	△15
計	704	14	61	25	△11	693	15	65	20	△5
生産財	54	9	67	24	△15	53	13	76	11	2
消費財	32	6	63	31	△25	32	9	75	16	△7
計	86	8	65	27	△19	85	12	75	13	△1
合計	790	13	62	25	△12	778	15	66	19	△4

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、窯業・土石が唯一プラスとなり、繊維・衣服がゼロ水準で、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△10で、前期（1～3月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、12業種において改善がみられ、一般機械、消費財卸など5業種がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は7ポイント上昇して△3と見込まれ、利用の減退圧力はかなり弱まるものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	80	7	75	18	△11	78	9	74	17	△8
	繊維・衣服	40	18	64	18	0	39	17	62	21	△4
	木材・家具	31	10	74	16	△6	31	19	65	16	3
	パルプ・紙	30	13	70	17	△4	29	10	76	14	△4
	化学・プラスチック	87	4	76	20	△16	86	7	80	13	△6
	窯業・土石	30	17	70	13	4	30	13	84	3	10
	鉄鋼・非鉄	73	8	63	29	△21	71	5	75	20	△15
	金属製品	49	10	70	20	△10	48	19	62	19	0
	一般機械	91	12	70	18	△6	89	16	71	13	3
	電気機械	110	7	68	25	△18	110	15	65	20	△5
	輸送用機械	80	12	74	14	△2	79	16	71	13	3
	精密機械	25	8	68	24	△16	25	8	80	12	△4
その他	50	6	74	20	△14	51	5	75	20	△15	
計	776	9	71	20	△11	766	12	72	16	△4	
卸売業	生産財	55	10	75	15	△5	54	15	74	11	4
	消費財	41	5	88	7	△2	41	12	86	2	10
	計	96	8	81	11	△3	95	14	79	7	7
合計	872	9	72	19	△10	861	12	73	15	△3	

(4) 鉄道コンテナ

- 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械が唯一プラスで、残り14業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△11で、前期（1～3月）実績からは5ポイント上昇した。
- 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、11業種において改善がみられ、木材・家具および化学・プラスチックがゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は3ポイント上昇して△8と見込まれ、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	51	17	61	22	△5	50	14	64	22	△8
	繊維・衣服	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	木材・家具	21	14	62	24	△10	21	14	72	14	0
	パルプ・紙	38	18	58	24	△6	37	16	65	19	△3
	化学・プラスチック	79	14	67	19	△5	79	14	72	14	0
	窯業・土石	17	6	76	18	△12	17	11	71	18	△7
	鉄鋼・非鉄	45	9	62	29	△20	44	13	64	23	△10
	金属製品	21	5	81	14	△9	20	0	95	5	△5
	一般機械	39	2	77	21	△19	39	7	72	21	△14
	電気機械	39	10	54	36	△26	39	10	64	26	△16
	輸送用機械	35	14	77	9	5	35	17	72	11	6
	精密機械	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	その他	28	14	61	25	△11	29	3	66	31	△28
計	430	11	67	22	△11	427	11	70	19	△8	
卸売業	生産財	13	8	69	23	△15	12	8	75	17	△9
	消費財	14	0	64	36	△36	13	8	69	23	△15
	計	27	3	67	30	△27	25	8	72	20	△12
合計	457	11	67	22	△11	452	11	70	19	△8	

(5) 内航コンテナ

- 4～6月実績(見込み)の『利用動向指数』は、輸送用機械が唯一プラスとなり、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△14で、前期(1～3月)実績からは2ポイント上昇した。
- 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がマイナスに沈む一方、パルプ・紙および窯業・土石がゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は4ポイント上昇して△10と見込まれ、利用の減退が続くものの、減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	33	6	73	21	△15	33	6	73	21	△15	
繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
木材・家具	14	14	43	43	△29	14	7	57	36	△29	
パルプ・紙	20	5	85	10	△5	20	10	80	10	0	
化学・プラスチック	45	4	74	22	△18	45	8	76	16	△8	
窯業・土石	12	0	75	25	△25	12	8	84	8	0	
鉄鋼・非鉄	26	4	77	19	△15	26	3	85	12	△9	
金属製品	16	6	81	13	△7	15	7	80	13	△6	
一般機械	32	9	78	13	△4	32	9	78	13	△4	
電気機械	33	0	70	30	△30	33	3	76	21	△18	
輸送用機械	25	12	80	8	4	25	12	80	8	4	
精密機械	7	0	57	43	△43	7	0	57	43	△43	
その他	20	15	60	25	△10	21	14	53	33	△19	
計	289	6	74	20	△14	289	8	75	17	△9	
卸売業	生産財	11	9	82	9	0	11	9	82	9	0
	消費財	10	10	80	10	0	9	0	89	11	△11
	計	21	10	80	10	0	20	5	85	10	△5
合計	310	6	74	20	△14	309	7	76	17	△10	

(6) 国内航空

- 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、窯業・土石および輸送用機械が1ケタのマイナスにとどまる以外は、残り13業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△22で、前期（1～3月）実績からは5ポイント上昇した。
- 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、引き続き全15業種がマイナスとなるが、過半数の業種において改善がみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は4ポイント上昇して△18と見込まれ、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものの、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

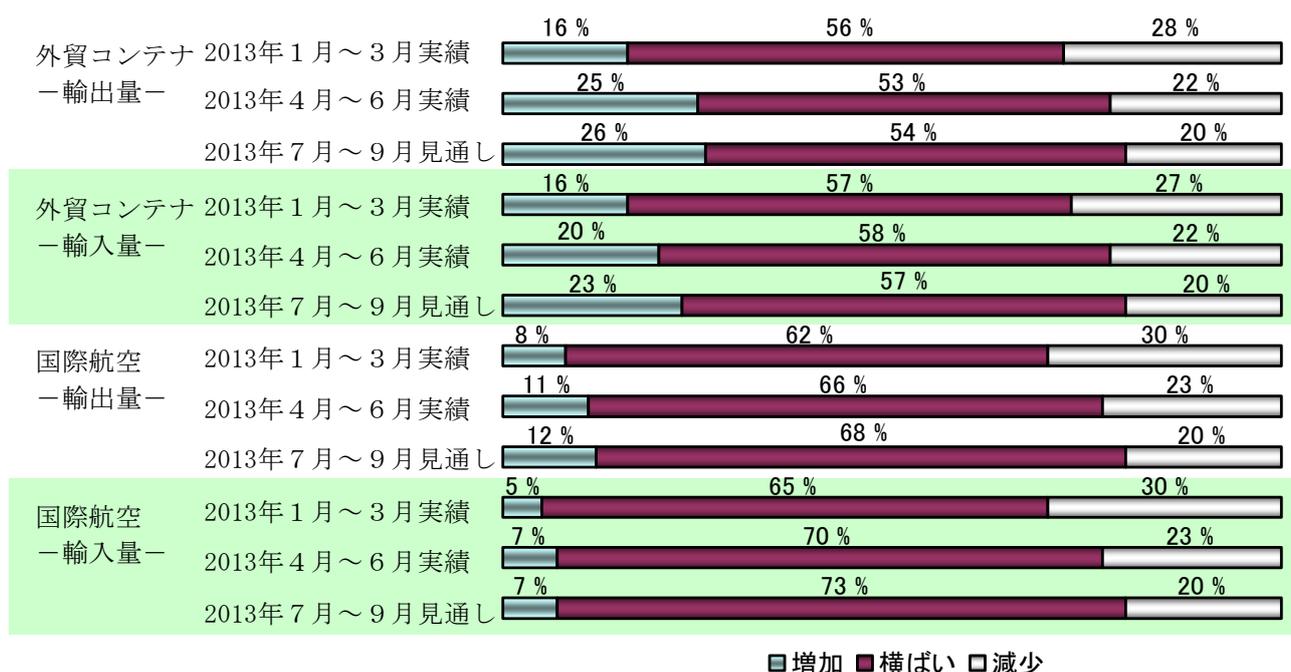
業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	29	3	59	38	△35	29	3	59	38	△35
繊維・衣服	10	0	70	30	△30	10	0	80	20	△20
木材・家具	9	11	67	22	△11	9	11	67	22	△11
パルプ・紙	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
化学・プラスチック	35	0	86	14	△14	35	0	89	11	△11
窯業・土石	11	9	73	18	△9	11	0	91	9	△9
鉄鋼・非鉄	24	0	71	29	△29	24	4	75	21	△17
金属製品	16	0	81	19	△19	15	0	80	20	△20
一般機械	51	6	76	18	△12	50	6	74	20	△14
電気機械	64	5	64	31	△26	63	8	67	25	△17
輸送用機械	30	3	87	10	△7	30	0	90	10	△10
精密機械	13	0	69	31	△31	12	0	83	17	△17
その他	19	0	63	37	△37	20	10	50	40	△30
計	319	3	73	24	△21	316	4	74	22	△18
卸売業										
生産財	17	0	65	35	△35	17	5	71	24	△19
消費財	11	0	64	36	△36	11	0	73	27	△27
計	28	0	64	36	△36	28	4	71	25	△21
合計	347	3	72	25	△22	344	4	74	22	△18

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において前期（1～3 月）よりも大幅な改善がみられ、外貿コンテナの輸出ではプラスに浮上した。ただし、国際航空では輸出・輸入とも引き続き 2 ケタのマイナスとなった。

■ 7～9 月の見通しでは、すべての輸送機関においてさらに『荷動き指数』が上昇する見込みであり、外貿コンテナの輸入がプラスに浮上する。一方、国際航空の輸出・輸入では引き続きマイナスにとどまっており、外貿コンテナに比べて回復に向けての足取りは重い。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、生産財卸など8業種がプラスで、精密機械、消費財卸など7業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は前期（1～3月）実績より15ポイント上昇してプラス3と、2011年1～3月実績以来のプラスに浮上した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料がマイナスに沈み、木材・家具もゼロ水準まで下降する一方、輸送用機械がプラスに浮上し、電気機械およびその他の製造業もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は3ポイント上昇してプラス6と見込まれ、荷動きの回復基調はより鮮明になるものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業 種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	22	36	41	23	13	22	27	41	32	△ 5
	繊維・衣服	13	15	54	31	△ 16	13	23	46	31	△ 8
	木材・家具	7	29	57	14	15	7	14	72	14	0
	パルプ・紙	18	44	50	6	38	18	44	44	12	32
	化学・プラスチック	53	32	47	21	11	53	30	57	13	17
	窯業・土石	18	33	45	22	11	17	41	47	12	29
	鉄鋼・非鉄	46	28	48	24	4	46	26	59	15	11
	金属製品	18	6	72	22	△ 16	17	11	65	24	△ 13
	一般機械	66	29	53	18	11	66	21	61	18	3
	電気機械	49	14	68	18	△ 4	49	24	52	24	0
	輸送用機械	53	26	46	28	△ 2	52	35	40	25	10
	精密機械	12	16	42	42	△ 26	12	25	42	33	△ 8
	その他の	25	20	56	24	△ 4	26	23	54	23	0
計	400	26	52	22	4	398	27	53	20	7	
卸 売 業	生産財	11	27	64	9	18	11	27	73	0	27
	消費財	10	0	70	30	△ 30	10	0	60	40	△ 40
	計	21	14	67	19	△ 5	21	14	67	19	△ 5
合計	421	25	53	22	3	419	26	54	20	6	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石、輸送用機械など5業種がプラス、パルプ・紙など3業種がゼロ水準で、木材・家具、化学・プラスチックなど7業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△2で、前期（1～3月）実績からは9ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、窯業・土石がマイナスに沈む一方、パルプ・紙、電気機械など4業種がプラスに浮上し、化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は5ポイント上昇してプラス3と見込まれ、荷動きは回復に向かうものとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	25	28	36	36	△8	25	16	48	36	△20
繊維・衣服	16	25	56	19	6	16	25	56	19	6
木材・家具	15	7	60	33	△26	15	13	67	20	△7
パルプ・紙	15	27	46	27	0	15	33	54	13	20
化学・プラスチック	45	13	63	24	△11	45	16	68	16	0
窯業・土石	19	21	68	11	10	18	11	72	17	△6
鉄鋼・非鉄	36	19	62	19	0	36	17	72	11	6
金属製品	18	11	67	22	△11	17	5	71	24	△19
一般機械	65	22	58	20	2	65	26	51	23	3
電気機械	59	19	59	22	△3	59	31	53	16	15
輸送用機械	53	30	51	19	11	52	37	46	17	20
精密機械	13	31	38	31	0	13	31	46	23	8
その他	28	7	79	14	△7	29	17	62	21	△4
計	407	20	58	22	△2	405	23	58	19	4
卸売業										
生産財	19	26	53	21	5	19	26	58	16	10
消費財	19	21	47	32	△11	19	21	47	32	△11
計	38	24	50	26	△2	38	24	52	24	0
合計	445	20	58	22	△2	443	23	57	20	3

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、繊維・衣服が唯一プラスとなり、木材・家具および鉄鋼・非鉄がゼロ水準で、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△12で、前期（1～3月）実績からは10ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がマイナスに沈む一方、化学・プラスチックおよび金属製品がゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は4ポイント上昇して△8と見込まれ、荷動きの減退圧力はいくぶん弱まる見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	9	0	44	56	△56	9	0	44	56	△56
繊維・衣服	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
パルプ・紙	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
化学・プラスチック	32	15	63	22	△7	31	16	68	16	0
窯業・土石	11	10	45	45	△35	11	0	64	36	△36
鉄鋼・非鉄	29	21	58	21	0	29	14	69	17	△3
金属製品	14	7	79	14	△7	13	15	70	15	0
一般機械	56	11	71	18	△7	56	13	71	16	△3
電気機械	68	12	66	22	△10	68	18	60	22	△4
輸送用機械	36	11	64	25	△14	36	14	67	19	△5
精密機械	14	7	64	29	△22	13	8	77	15	△7
その他	14	7	72	21	△14	15	0	80	20	△20
計	302	11	66	23	△12	300	12	68	20	△8
卸売業										
生産財	8	12	63	25	△13	8	12	63	25	△13
消費財	7	0	71	29	△29	7	0	57	43	△43
計	15	6	67	27	△21	15	7	60	33	△26
合計	317	11	66	23	△12	315	12	68	20	△8

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、木材・家具および金属製品がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△16で、前期（1～3月）実績からは9ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品がプラスに浮上するほか、化学・プラスチック、生産財卸など7業種でマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は3ポイント上昇して△13と見込まれ、荷動きの減退圧力はいくぶん弱まる見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

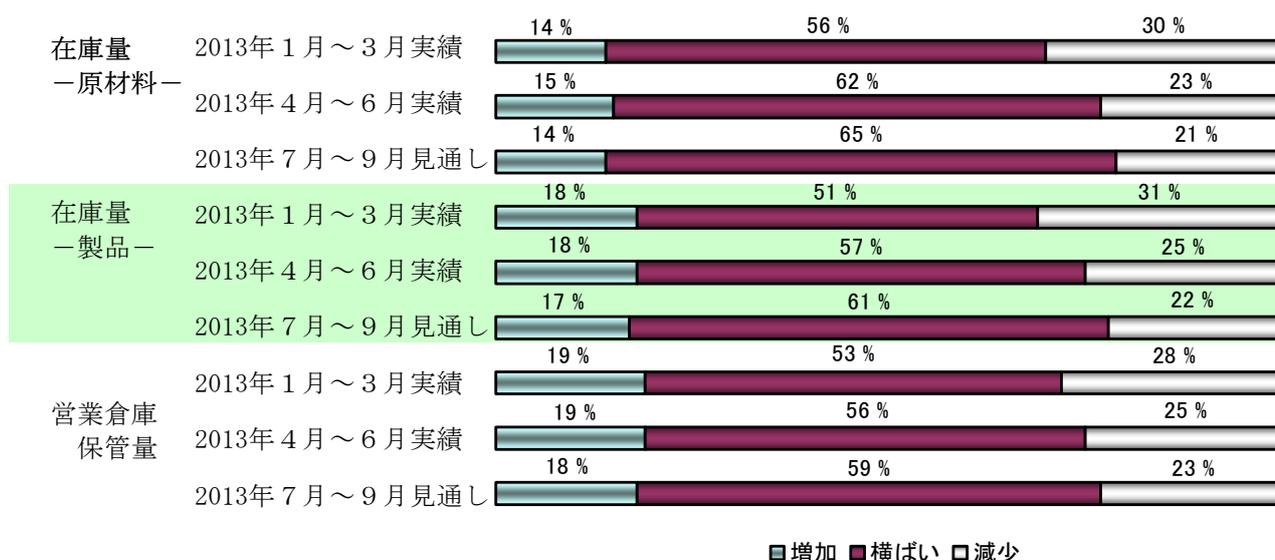
業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	10	10	40	50	△40	10	10	40	50	△40
繊維・衣服	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
パルプ・紙	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
化学・プラスチック	29	10	62	28	△18	29	10	73	17	△7
窯業・土石	10	0	60	40	△40	10	0	70	30	△30
鉄鋼・非鉄	25	8	68	24	△16	25	4	76	20	△16
金属製品	13	8	84	8	0	12	17	75	8	9
一般機械	47	6	73	21	△15	47	4	77	19	△15
電気機械	61	11	73	16	△5	61	13	72	15	△2
輸送用機械	35	6	77	17	△11	35	6	80	14	△8
精密機械	12	8	67	25	△17	12	8	67	25	△17
その他	15	0	60	40	△40	16	0	63	37	△37
計	273	7	70	23	△16	273	7	73	20	△13
卸売業										
生産財	12	8	50	42	△34	12	17	50	33	△16
消費財	9	0	78	22	△22	10	0	80	20	△20
計	21	5	62	33	△28	22	9	64	27	△18
合計	294	7	70	23	△16	295	7	73	20	△13

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 4～6月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、『動向指数』は引き続きマイナスとなった。前期(1～3月)実績と比較すると、いずれの『動向指数』においても上昇がみられた。

■ 7～9月の見通しについては、すべての『動向指数』が引き続きマイナスで推移するが、それぞれ小幅な上昇が見込まれる。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量削減の方向には変化がないものの、在庫圧縮の圧力および営業倉庫保管量に対する削減圧力は若干弱まるものとみられる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、その他の製造業および生産財卸がプラスで、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△8で、前期（1～3月）実績からは8ポイント上昇した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、その他の製造業がマイナスに落ち込む一方、化学・プラスチックがゼロ水準まで戻すほか、パルプ・紙など5業種でマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は強含み横ばいで推移し、原材料在庫の圧縮の動きに変化はないものの、在庫圧縮の圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	91	14	70	16	△2	89	13	68	19	△6
繊維・衣服	38	13	55	32	△19	38	13	61	26	△13
木材・家具	36	22	53	25	△3	36	14	64	22	△8
パルプ・紙	53	9	70	21	△12	53	8	81	11	△3
化学・プラスチック	99	15	68	17	△2	98	15	70	15	0
窯業・土石	35	14	55	31	△17	35	11	69	20	△9
鉄鋼・非鉄	106	13	63	24	△11	105	9	70	21	△12
金属製品	47	12	60	28	△16	46	15	59	26	△11
一般機械	84	20	55	25	△5	84	18	58	24	△6
電気機械	110	11	64	25	△14	110	14	59	27	△13
輸送用機械	96	17	60	23	△6	95	17	59	24	△7
精密機械	21	19	57	24	△5	20	10	70	20	△10
その他	51	27	53	20	7	52	15	64	21	△6
計	867	15	62	23	△8	861	14	65	21	△7
卸売業										
生産財	42	19	67	14	5	42	14	76	10	4
消費財	31	13	61	26	△13	31	13	61	26	△13
計	73	16	65	19	△3	73	14	70	16	△2
合計	940	15	62	23	△8	934	14	65	21	△7

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、化学・プラスチックおよびその他の製造業がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△7で、前期（1～3月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに落ち込み、その他の製造業もゼロ水準まで下降する一方、窯業・土石および生産財卸がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△5と2ポイント上昇する見込みで、原材料在庫の圧縮の動きに変化はないものの、在庫圧縮の圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	94	14	62	24	△10	92	10	68	22	△12
	繊維・衣服	40	27	35	38	△11	40	33	33	34	△1
	木材・家具	38	21	50	29	△8	38	18	56	26	△8
	パルプ・紙	55	15	58	27	△12	55	11	69	20	△9
	化学・プラスチック	105	22	58	20	2	105	23	58	19	4
	窯業・土石	39	20	49	31	△11	39	15	75	10	5
	鉄鋼・非鉄	103	18	55	27	△9	102	11	67	22	△11
	金属製品	48	15	54	31	△16	47	21	49	30	△9
	一般機械	88	20	52	28	△8	88	19	58	23	△4
	電気機械	114	14	59	27	△13	114	16	59	25	△9
	輸送用機械	99	17	66	17	0	98	16	65	19	△3
	精密機械	21	10	76	14	△4	20	15	70	15	0
	その他	55	31	49	20	11	56	23	54	23	0
計	899	19	56	25	△6	894	17	61	22	△5	
卸売業	生産財	60	17	60	23	△6	60	17	73	10	7
	消費財	44	11	69	20	△9	44	14	61	25	△11
	計	104	14	64	22	△8	104	15	69	16	△1
合計	1,003	18	57	25	△7	998	17	61	22	△5	

(3) 営業倉庫保管量

- 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、その他の製造業、生産財卸など6業種がプラスで、繊維・衣服、精密機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績からは3ポイント上昇した。
- 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がマイナスに落ち込む一方、窯業・土石がゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『保管動向指数』は△5と強含み横ばいで推移する見通しであり、営業倉庫保管量に対する削減圧力は若干弱まるものとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

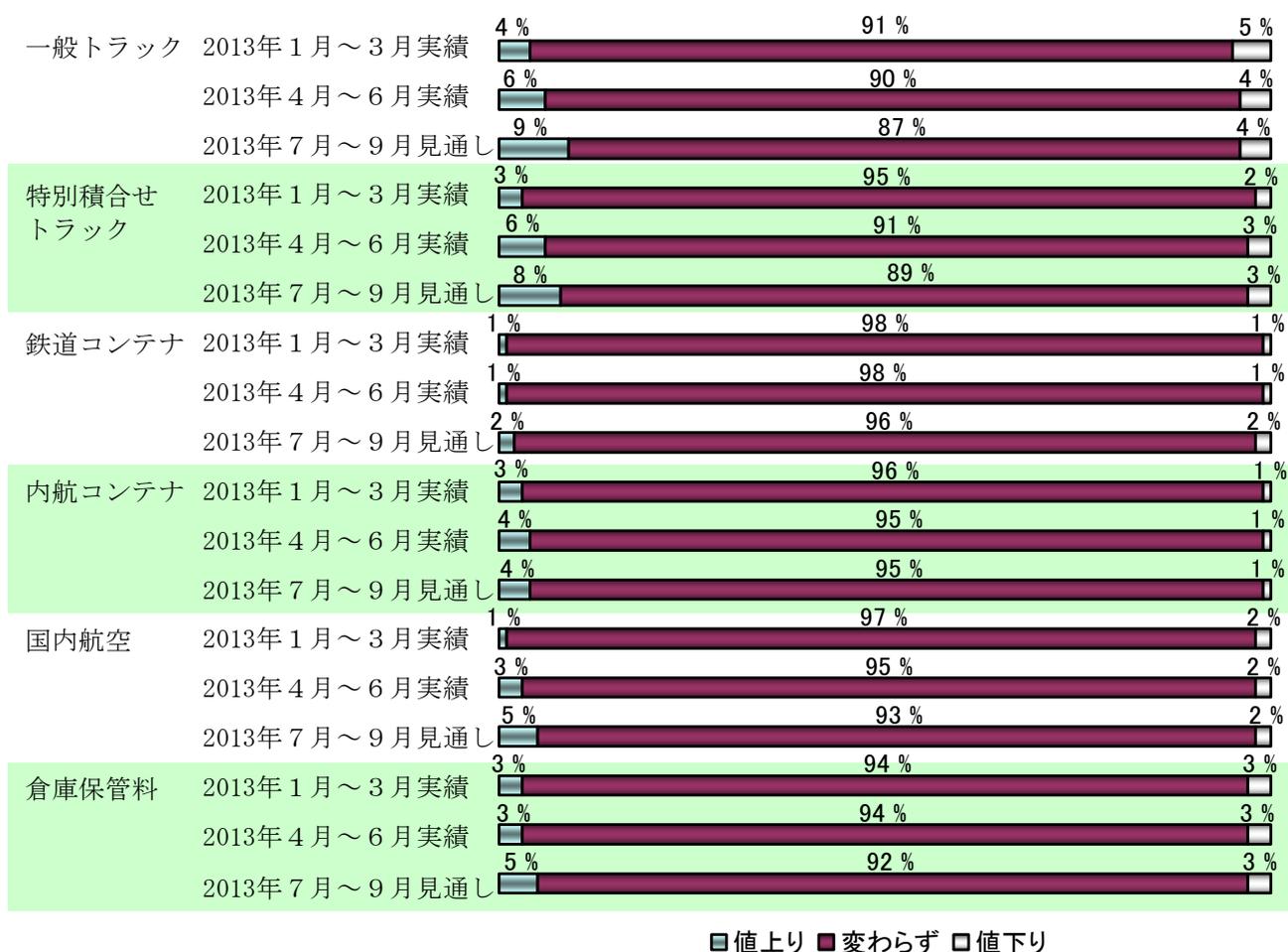
業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	79	16	64	20	△4	79	18	63	19	△1	
繊維・衣服	22	18	36	46	△28	22	23	32	45	△22	
木材・家具	30	23	57	20	3	30	23	60	17	6	
パルプ・紙	44	20	50	30	△10	44	13	64	23	△10	
化学・プラスチック	91	23	56	21	2	91	23	62	15	8	
製造業	窯業・土石	27	18	41	41	△23	27	19	62	19	0
	鉄鋼・非鉄	74	27	50	23	4	73	25	48	27	△2
	金属製品	26	11	54	35	△24	26	15	54	31	△16
	一般機械	66	17	62	21	△4	67	13	68	19	△6
	電気機械	73	8	58	34	△26	73	9	58	33	△24
	輸送用機械	66	16	58	26	△10	65	18	51	31	△13
	精密機械	16	0	69	31	△31	16	0	63	37	△37
その他	39	26	54	20	6	40	25	55	20	5	
計	653	18	56	26	△8	653	18	58	24	△6	
卸売業	生産財	46	26	57	17	9	46	17	70	13	4
	消費財	38	21	61	18	3	38	18	66	16	2
	計	84	24	58	18	6	84	18	68	14	4
合計	737	19	56	25	△6	737	18	59	23	△5	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、特別積合せトラックおよび内航コンテナでプラス3となる以外は、残りすべての機関でゼロ水準±2の範囲内に収まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（1～3月）実績との比較では、鉄道コンテナおよび倉庫以外の機関において、『動向指数』の上昇がみられた。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナおよび内航コンテナでは横ばいで推移する一方、その他の機関では上昇方向に動く。なかでも一般トラックおよび特別積合せトラックではプラス5と、増勢がいくぶん強まる見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、消費財卸など10業種がプラス、鉄鋼・非鉄および一般機械がゼロ水準で、食料品・飲料、電気機械、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期(1～3月)実績からは3ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石がゼロ水準に下降する一方、食料品・飲料、鉄鋼・非鉄、電気機械の3業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇してプラス5と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	105	4	89	7	△3	104	11	83	6	5
繊維・衣服	38	13	84	3	10	37	14	84	2	12
木材・家具	39	8	92	0	8	39	15	85	0	15
パルプ・紙	56	4	96	0	4	55	5	95	0	5
化学・プラスチック	112	3	96	1	2	110	6	93	1	5
窯業・土石	39	10	82	8	2	39	8	84	8	0
鉄鋼・非鉄	108	7	86	7	0	107	11	82	7	4
金属製品	51	6	92	2	4	51	8	88	4	4
一般機械	99	4	92	4	0	98	6	88	6	0
電気機械	120	5	89	6	△1	119	8	85	7	1
輸送用機械	104	9	88	3	6	102	9	86	5	4
精密機械	21	0	90	10	△10	21	0	90	10	△10
その他	55	5	95	0	5	56	9	91	0	9
計	947	6	90	4	2	938	9	87	4	5
卸売業										
生産財	60	5	92	3	2	59	12	86	2	10
消費財	48	17	83	0	17	47	17	83	0	17
計	108	10	88	2	8	106	14	85	1	13
合計	1,055	6	90	4	2	1,044	9	87	4	5

(2) 特別積合せトラック運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、消費財卸など10業種がプラスで、食料品・飲料、精密機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス3で、前期(1～3月)実績からは2ポイント上昇した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械がゼロ水準に下降する一方、金属製品および電気機械がプラスに浮上し、輸送用機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス5と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	67	1	92	7	△6	66	3	89	8	△5
繊維・衣服	30	13	87	0	13	29	14	86	0	14
木材・家具	27	7	93	0	7	27	15	85	0	15
パルプ・紙	34	9	91	0	9	34	15	82	3	12
化学・プラスチック	98	4	96	0	4	97	6	94	0	6
窯業・土石	29	7	90	3	4	29	10	87	3	7
鉄鋼・非鉄	67	9	90	1	8	67	10	89	1	9
金属製品	37	0	97	3	△3	37	5	92	3	2
一般機械	75	4	93	3	1	75	5	90	5	0
電気機械	96	3	93	4	△1	95	7	88	5	2
輸送用機械	75	4	91	5	△1	71	4	92	4	0
精密機械	13	0	85	15	△15	13	0	85	15	△15
その他	42	10	88	2	8	43	12	86	2	10
計	690	5	92	3	2	683	8	89	3	5
卸売業										
生産財	52	10	88	2	8	51	14	86	0	14
消費財	33	18	82	0	18	33	15	85	0	15
計	85	13	86	1	12	84	14	86	0	14
合計	775	6	91	3	3	767	8	89	3	5

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙、その他の製造業の3業種がプラス、繊維・衣服など9業種がゼロ水準で、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期(1～3月)実績からは横ばいで推移した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械がマイナスに落ち込み、化学・プラスチックのマイナス幅が拡大する一方、パルプ・紙のプラス幅が拡大する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準は現状維持となる見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	49	4	94	2	2	48	4	94	2	2
繊維・衣服	9	0	100	0	0	7	0	100	0	0
木材・家具	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
パルプ・紙	38	3	97	0	3	38	5	95	0	5
化学・プラスチック	77	0	99	1	△ 1	77	0	97	3	△ 3
窯業・土石	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	43	2	93	5	△ 3	43	2	93	5	△ 3
金属製品	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
一般機械	40	0	100	0	0	40	0	98	2	△ 2
電気機械	40	0	100	0	0	40	0	100	0	0
輸送用機械	35	3	94	3	0	35	3	94	3	0
精密機械	8	0	88	12	△ 12	8	0	88	12	△ 12
その他	26	4	96	0	4	27	4	96	0	4
計	423	1	98	1	0	421	2	96	2	0
卸売業										
生産財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
消費財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
計	26	0	100	0	0	26	0	100	0	0
合計	449	1	98	1	0	447	2	96	2	0

(4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、その他の製造業、消費財卸など8業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、食料品・飲料および精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス3で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸がゼロ水準に下降し、電気機械およびその他の製造業のプラス幅が縮小する一方、パルプ・紙のプラス幅が拡大する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス3と横ばいで推移し、運賃水準の緩やかな上昇傾向には変化がないものとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	32	3	91	6	△3	32	3	91	6	△3	
繊維・衣服	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0	
木材・家具	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7	
パルプ・紙	18	6	94	0	6	18	11	89	0	11	
化学・プラスチック	43	5	95	0	5	42	5	95	0	5	
窯業・土石	12	8	92	0	8	12	8	92	0	8	
鉄鋼・非鉄	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0	
金属製品	13	0	100	0	0	14	0	100	0	0	
一般機械	32	3	97	0	3	32	3	97	0	3	
電気機械	35	9	91	0	9	35	6	94	0	6	
輸送用機械	24	0	100	0	0	23	0	100	0	0	
精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14	
その他の	19	11	89	0	11	20	10	90	0	10	
計	278	4	95	1	3	278	4	95	1	3	
卸売業	生産財	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	消費財	10	10	90	0	10	10	0	100	0	0
	計	19	5	95	0	5	19	0	100	0	0
合計	297	4	95	1	3	297	4	95	1	3	

(5) 国内航空運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、消費財卸など6業種がプラス、食料品・飲料など7業種がゼロ水準で、電気機械および生産財卸がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス3で、前期（1～3月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙がマイナスに落ち込む一方、生産財卸がプラスに浮上し、一般機械など3業種のプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス3と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がいくぶん強まるものとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	26	4	92	4	0	26	4	92	4	0
繊維・衣服	8	12	88	0	12	7	14	86	0	14
木材・家具	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
パルプ・紙	8	0	100	0	0	8	0	88	12	△ 12
化学・プラスチック	33	0	100	0	0	33	0	100	0	0
窯業・土石	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
鉄鋼・非鉄	25	0	100	0	0	25	0	100	0	0
金属製品	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
一般機械	51	6	94	0	6	51	8	92	0	8
電気機械	65	0	95	5	△ 5	64	3	91	6	△ 3
輸送用機械	28	4	96	0	4	28	4	96	0	4
精密機械	13	8	84	8	0	13	8	84	8	0
その他	17	6	94	0	6	18	11	89	0	11
計	310	3	95	2	1	309	4	94	2	2
卸売業										
生産財	16	0	94	6	△ 6	15	7	93	0	7
消費財	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
計	25	4	92	4	0	24	8	92	0	8
合計	335	3	95	2	1	333	5	93	2	3

(6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6 月実績（見込み）の『料金動向指数』は、繊維・衣服、その他の製造業など6業種がプラス、木材・家具など4業種がゼロ水準で、パルプ・紙、精密機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』はゼロ水準で、前期(1～3月)実績からは横ばいで推移した。

■ 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および一般機械がゼロ水準に下降する一方、生産財卸がプラスに浮上し、化学・プラスチックおよび窯業・土石がゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『料金動向指数』はプラス1と強含み横ばいで推移し、料金水準は概ね現状維持となる見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	59	5	92	3	2	59	12	81	7	5
繊維・衣服	14	7	93	0	7	13	8	92	0	8
木材・家具	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
パルプ・紙	36	0	94	6	△6	36	0	94	6	△6
化学・プラスチック	87	1	96	3	△2	87	3	94	3	0
窯業・土石	21	0	95	5	△5	21	5	90	5	0
鉄鋼・非鉄	57	5	91	4	1	56	4	92	4	0
金属製品	22	5	90	5	0	22	5	90	5	0
一般機械	58	3	95	2	1	58	2	96	2	0
電気機械	70	3	91	6	△3	70	3	91	6	△3
輸送用機械	57	4	92	4	0	55	4	92	4	0
精密機械	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8
その他	35	9	91	0	9	36	11	86	3	8
計	556	3	94	3	0	553	4	92	4	0
卸売業										
生産財	37	3	94	3	0	36	8	89	3	5
消費財	29	3	97	0	3	29	7	93	0	7
計	66	3	95	2	1	65	8	90	2	6
合計	622	3	94	3	0	618	5	91	4	1

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、その他の製造業、消費財卸など10業種がプラス、生産財卸がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス4で、前期（1～3月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは輸送用機械がマイナスに沈む一方、鉄鋼・非鉄および生産財卸がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス5と強含み横ばいで推移し、物流コスト割合はいくぶん拡大する見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業種	2013年4月～6月実績					2013年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
食料品・飲料	104	23	62	15	8	104	22	63	15	7	
繊維・衣服	46	22	59	19	3	46	24	61	15	9	
木材・家具	42	21	72	7	14	42	26	67	7	19	
パルプ・紙	56	18	73	9	9	56	18	73	9	9	
化学・プラスチック	113	18	68	14	4	112	16	74	10	6	
製造業	窯業・土石	40	12	68	20	△ 8	40	10	75	15	△ 5
	鉄鋼・非鉄	110	7	79	14	△ 7	109	11	80	9	2
	金属製品	53	19	72	9	10	53	21	72	7	14
	一般機械	97	15	71	14	1	97	18	72	10	8
	電気機械	125	14	68	18	△ 4	125	15	67	18	△ 3
	輸送用機械	100	22	57	21	1	99	21	56	23	△ 2
	精密機械	24	8	75	17	△ 9	24	12	63	25	△ 13
その他	56	27	63	10	17	58	22	69	9	13	
計	966	17	68	15	2	965	18	69	13	5	
卸売業	生産財	67	12	76	12	0	67	15	73	12	3
	消費財	51	29	61	10	19	51	27	63	10	17
	計	118	19	70	11	8	118	20	69	11	9
合計	1,084	18	68	14	4	1,083	18	69	13	5	